

2006年最新情報

新しい連邦法で今年の選挙が変わります。

それらが貴方と貴方の投票にどのように影響するかをご確認ください。

身分証明証の提示が新しく義務付けられました

2006年1月1日以降に投票の登録や再登録をするには、カリフォルニア州運転免許証番号または州ID番号のいずれかひとつを投票登録用紙の適切な欄に記入する必要があります。いずれの番号もない場合は、適切な欄に社会保障番号の下4桁を記入しなければなりません。カリフォルニア州運転免許証、州ID番号、社会保障番号のいずれもない場合でも投票登録できますが、いずれかの番号をお持ちである限りは、必ず記入しなければなりません。

選挙管理人は登録投票者リストに貴方のお名前を載せる前に、本人のID番号を確認しなければならないので、選挙の前に十分余裕を持って必ず登録をお済ませください。

カリフォルニア州で初めて郵送登録した方でその際にID番号を記入されなかなかった方は、投票所で投票する際にIDの提示が必要であったり、不在者投票用紙(absentee ballot)にIDのコピーを含める必要がある場合があります。ご不明な点がある場合は最寄の選挙管理人にご連絡ください。

選挙管理人の連絡先を調べるには、

 **1-800-345-vote**までお電話いただくか

1-800-339-2865 (日本語)

 **www.ss.ca.gov/elections/elections_d.htm**をご覧ください。

障害のある投票者に投票機が利用可能になっていなければなりません

連邦法によると、2006年より、各投票所に少なくとも1台の投票機が障害のある投票者に利用可能であることが新しく義務付けられました。

障害のある投票者は独立した個人として投票できなければなりません。

貴方の声を政治へ
選挙へ行こう!



居住されている郡で新しい投票機が導入されているかもしれません

連邦法および州法を遵守するため新しい投票機を購入した郡が多数あります。新型投票機での投票方法が分からない場合は、投票立会人に使用方法を教えてください。

カリフォルニア州の投票機はいずれも厳格な検査に合格し、使用許可が下りる前に連邦・州の基準にすべて遵守している必要があります。

貴方には投票する権利があります

投票所のリストにお名前が掲載されていない場合でも、「仮投票」(provisional)の権利があります。投票立会人は、貴方の1票が有効であるか、またそうでない場合の理由について調べる方法を教えてください。

「仮投票」は通常の投票と同じですが、貴方に投票権があるかどうかを選挙管理人が判定するまで、封筒に入れられ、保留状態になっています。投票権があることが選挙管理人に分かれれば、その投票は有効とされます。

投票所を間違った場合、リストにお名前が掲載され通常の投票が行える正しい投票所への行き方を投票立会人が教えてくれることがあります。正しい投票所に行かないと決めた場合は、仮投票ができます。

- カリフォルニア州の選挙についての詳細は、
 州務長官ホームページ www.ss.ca.gov をご覧ください。

貴方の声を政治へ
選挙へ行こう!